

(川崎さん)

怖くて動けなかった、ということが、一番言いたかった。

(桶屋さん)

電気も暖房も、普通通りであったので良かった、と思いました。

(川崎さん)

ここに居たから良かった、ということをお話したいのですね。

(桶屋さん)

もし、電気や暖房が消えていたら、自分で何もできなかった。

(川崎さん)

本日、本来はこちらの職員で車いす利用者が参加する予定でしたが、都合により欠席です。言いたいことをここに書いてあるのですが、

S.Y氏(「青山彩光苑」総務課職員・車いす利用者)のアドバイス

「障がいを持つ者として」

- ・今回震災を経験してどう感じたか
- ・災害時に施設などの安全な場所にいなかったときはどう対処(覚悟)する?
- ・今後災害が起こったときの心構え
- ・支援が届かなかった場合の覚悟など
- ・それを叶えるにはどうすれば良いか?
- ・一緒にそれらを考えて後世に伝えていきませんか

どんなことでも、ご意見ありましたら。